

この評価ソフトは、改正省エネ基準の経過措置が終わる2015年3月までの経過措置で使用できます。



(2010年ver. 1.8)

評価結果

■使用評価マニュアル：CASBEE広島 2013年追加版Ver.2 (BPI/BEI対応) ■ベース評価ソフト：CASBEE-NCb_2010bpi&bei(v.2.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	広島刑 収容棟F	階数	地上5F
建設地	広島市中区吉島町13番114号	構造	RC造
用途地域	第2種住居地域	平均居住人員	210 人
気候区分	地域区分IV	年間使用時間	2,600 時間/年
建物用途	ホテル,	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2019年9月 予定	評価の実施日	2014年11月20日
敷地面積	79,905 m ²	作成者	野村徹
建築面積	859 m ²	確認日	2014年11月22日
延床面積	3,944 m ²	確認者	田村正道

外観パース等
図を貼り付けるときは
シートの保護を解除してください

2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.3

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値	100%
②建築物の取組み	80%
③上記+②以外の	80%
④上記+	80%

(kg-CO₂/年・m²)

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 Q のスコア = 2.7

Q1 室内環境

Q1のスコア = 2.7

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 2.9

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.5

LR 環境負荷低減性 LR のスコア = 3.6

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.5

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 4.0

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.4

3 広島市の重点項目

重点項目の総平均スコア = 3.4

「地球温暖化対策」の推進	「ヒートアイランド対策」の推進	「長寿命化対策」の推進
スコア = 3.8	スコア = 2.1	スコア = 3.1
設計の計画上特段に配慮した事項 / 共同室への給気口の設置 / ・高効率機器の採用及び自然エネルギー利用によりBEI=0.73 ・INV盤組込型の空調機を採用 ・既設の熱源機器を活用し、蒸気(温熱源)のみ供給 / ・空調機械室を各階1箇所とすることで、メンテナンス性を向上 ・各階中央部に空調機のリモコンを設置。機械室以外で空調の発停が可能 / 躯体と非構造部にリサイクル材を使用 躯体：高炉セメントB種・フライアッシュセメントB種	設計の計画上特段に配慮した事項 敷地内の歩道には保水性舗装と雨水利用の打ち水システムを採用し蒸発散作用により周辺の温度を下げる / 敷地内一般車輦と大型貨物車輦の出入口と走行範囲の分離 自転車置場を確保することで無断放置防止に役立てる	設計の計画上特段に配慮した事項 主要内装仕上材の更新必要間隔の長期化 床：ビニル床シート(20年) 内壁：EP(65年) 天井：化粧PB(30年) 空調・給排水配管の更新必要間隔の長期化 /

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される